

市の助言内容と申出者の意見

市の助言	申出者の意見
1 「まちに大きく開かれた緑ある“リビングパーク”の創出」(取組1) に関して	
<p>1 「まちに大きく開かれた緑ある“リビングパーク”の創出」にあたっては、屋外立体広場やバルコニーのみどりの豊かさが外部からも感じられることが重要であると考えられます。屋外立体広場やバルコニーが北側にあるという環境のなかで困難な面もあると思いますが、背の高い植栽を取り入れるなど、みどりがより豊かに感じられる空間の創出に向けて引き続き検討してください。</p>	<p>① 交差点に面する、2階バルコニー先端の緑化・2-3階に至る屋外階段の緑化・3階広場の緑化については、緑量を増やすよう努めます。</p> <p>② 北面道路に面した3階バルコニー先端の緑化帯は、低木足元にヘデラ等蔭下草を併用して植えて、緑量を多くみせる計画を展開します。</p>
2 「特徴ある街並みを継承強化する“ビルボードタワー”を設置」(取組2) に関して	
<p>1 ビルボードタワーの設置は、「すすきのエリア」の新たな顔の創出につながることを期待できる反面、その設計や運用によっては、かえって景観上望ましくない状態を生み出すおそれもあると考えられます。ビルボードタワーが「すすきのエリア」の魅力さをさらに高めるものとなるよう、その運用方法や広告物の掲出ルール、ビルボードタワーと屋外立体広場の関係性について、景観形成の観点からも、あらかじめ十分な検討を行ってください。</p>	<p>① ビルボードタワーの設置が、景観上望ましくない状態を生み出すおそれもあることを認識しております。</p> <p>② 運用方法や広告物掲出ルールについては、検討中です。まちの景観や風紀に配慮した広告物を掲出することを前提に、運用方法や掲出ルールを整理いたします。</p>
3 「賑わいを生みだす起爆剤として、昼と夜のカオづくりを実践」(取組4) に関して	
<p>1 「昼と夜のカオづくり」にあたっては、この建築物が周辺の街並みから突出しすぎないように配慮することも大切であると考えられます。個性を表現しつつも「すすきのエリア」の現状(昼や夜の明るさ、周辺のサインの状況など)に対して過剰な演出とならないデザイン等(照明の方法や屋外立体広場における柱の存在感、ビルボードタワーのあり方を含む。)を検討することで、この建築物が「すすきのエリア」の新しい規範となるようなものとなることを期待します。</p>	<p>① 夜間照明計画をまわりに配慮した明るさ感とし、本計画が周辺の街並みから突出しすぎないように、過剰な演出とならない外観デザインを展開していきます。</p> <p>② 屋外立体広場柱側面のデジタルサイネージは、中止します。デジタルサイネージは、屋外広場横のビルボードタワーのみとします。</p>

2	<p>「昼と夜のカオづくり」にあたっては、仲通り側に対しても、表とは異なる表情をつくっていくことが重要です。壁面の仕立て方や照明の使い方の工夫、広告物の活用などを検討することで、仲通りらしい賑わいが生まれるきっかけとなるような設計・運用がなされることを期待します。</p>	<p>① 夜間に仲通り壁面をライトアップし、明るく奥行き感ある通りの景観づくりを目指し演出します。</p>
3	<p>「昼と夜のカオづくり」にあたっては、多くの人の目に留まることが想定される地下出入口部分を1つの顔と捉え、設えていくことが望まれます。地下出入口の計画にあたっては、景観形成の観点からも検討を行うとともに、検討した内容が実現されるよう、引き続き、関係行政機関等と協議されることを期待します。また、当該出入口から地上部・広場への動線についても多くの方が利用する公共的な空間となることが予想されることから、構想段階における助言を踏まえ、引き続き、景観的な配慮を検討してください。</p>	<p>① 関係行政機関等との協議を引き続き、実施していきます。札幌駅からの地下道終点の入口として、明るさ感があり、商業施設に相応しい構えの創出を目指します。</p> <p>② 敷地内の施設入口には、階段状のベンチを設置し、すすきの地下鉄コンコース付近における待合広場としての雰囲気演出します。</p>